

# ○家庭・地域との連携

道徳教育の取組を発信し、学校と家庭・地域が一体となった取組をしています。



## 【学校だよりの活用】

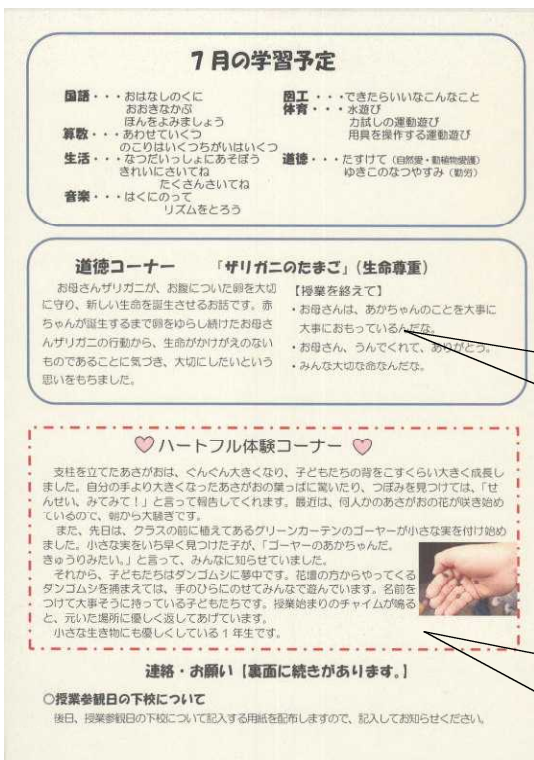
学校だよりには、「研究だより」コーナーを設け家庭に向けて道徳の時間の内容や本研究の取組を紹介し広く周知している。

**埼玉県道徳教育研究推進モデル校（研究だよりその6）**

「見える化」とは 道徳の時間の学習活動や子供の心の変容等を「見える化」、つまり可能な限り「目に見える」ようにし、子供たちの「今度やってみようかな」「次はこうしてみよう」という心情・判断力（実践しようとする力）を高めます。本校では、道徳の時間に学んだことが、その後の学校や家庭、地域での生活の中で少しでも多く実践できるように研究を進めています。学年だよりでは、その月の道徳の取組を掲載していますので、家庭でも、ぜひ話題にしてください。

## 【学年だよりの活用】

学年だよりには、「道徳コーナー」「ハートフル体験コーナー」を設け、道徳の授業の様子や豊かな心を育むための体験活動を紹介し、保護者や地域の方に向けて「見える化」を図っている。



**道徳コーナー 「ザリガニのたまご」(生命尊重)**

お母さんザリガニが、お腹についた卵を大切に守り、新しい生命を誕生させるお話です。赤ちゃんが誕生するまで卵をゆらし続けたお母さんザリガニの行動から、生命がかけがえのないものであることに気づき、大切にしたいという思いをもちました。

【授業を終えて】

- お母さんは、あかちゃんのことを大事に大事におもっているんだな。
- お母さん、うんでくれて、ありがとう。
- みんな大切な命なんだな。

**ハートフル体験コーナー**

支柱を立てたあさがおは、ぐんぐん大きくなり、子どもたちの背をこすくらい大きく成長しました。自分の手より大きくなったあさがおの葉っぱに驚いたり、つぼみを見つけては、「せなせい、みてみて!」と言って報告してくれます。最近、何人かのあさがおの花が咲き始めているので、朝から大騒ぎです。

また、先日は、クラスの前に植えてあるグリーンカーテンのゴーヤーが小さな実を付け始めました。小さな実をいち早く見つけた子が、「ゴーヤーのあかちゃんだ。きゅりみだい。」と言って、みんなに知らせていました。

それから、子どもたちはダンゴムシに夢中です。花壇の方からやってくるダンゴムシを捕まえては、手のひらにのせてみんなで遊んでいます。名前をつけて大事そうに持っている子どもたちです。授業始まりのチャイムが鳴ると、元いた場所に優しく返してあげています。小さな生き物にも優しくしている1年生です。

連絡・お願い【裏面に続きがあります。】

○授業参観日の下休について  
後日、授業参観日の下休について記入する用紙を配布しますので、記入してお知らせください。